板城西っ子

東広島市立板城西小学校
学校だより
校長　増上　正美
令和５年9月21日

学校教育目標　　夢と志をもち「自分育て」をする子どもの育成
～かかわりあいながら「いいちえ」「いいあせ」「いいこころ」で自分を伸ばす子ども～

前期後半が始まり，4週目が過ぎました。子ども達は来週の土曜日に行われる運動会に向けて，練習を頑張っています。18日の敬老の日，中国新聞には「スーパーボランティア」と呼ばれている尾畠春夫さん（10月で84歳）のインタビュー記事が載っていました。2018年に山口県で行方不明になった2歳の男の子を山中で見つけたニュースは有名です。「私は奉公に出たから，大事な時期に勉強ができんかった。学がないから，昔から頼りにしたのは自分の経験なんよ。現場では理屈じゃどげえもならんことが多いしね。やはり積み重ねが大事です。」と語る尾畠さん。今も「恩返し」の気持ちで日本各地での災害ボランティアをされています。敬老の日の朝，芯の通った人生を歩まれている先輩から学ばせていただきました。

中秋の名月
9月29日

「伝える」から「伝わる」へ

9月の学習目標は「話し方名人　相手にしっかり伝えよう」です。「話すこと」は好きですか？私は今でこそ人前で話す機会をたくさんいただいていますが，小学生時代は話すことがとても苦手でした。恥ずかしさで顔が赤くなり，伝えたいことの半分も言えなかった苦い思い出があります。

「話すこと」はアウトプットです。思いや考え，学んだこと（インプット）は，誰かに話すこと（アウトプット）でより理解が深まったり，自分自身に定着したりします。そして，話し手を育てるのは「聞いてくれる相手」の存在が大きいように思います。うなずきや「うんうん」「へえ～」などの相槌，「同じ！」「いいね！」などの共感ワードがあったり，否定されなかったりする受容的な雰囲気は話し手が安心感をもち，きっとまた話したくなります。

また，会話の「キャッチボール」が成立するのは，まずは「話し手も聞き手も相手のことを思いやること」それがベースにあることが大切な気がします。ここでみなさんに9月のミッション（お願い）です。

子どものがんばりや成長を言葉にして伝えよう！ほめよう！

Fantastic!

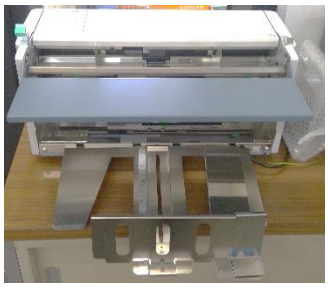
運動会の練習や運動会の日，前期の学習や生活等の振り返りの時期がほめほめチャンスです。

伝え方のポイント

結果だけでなく過程もほめましょう。例えば，「暑い中の練習をがんばったから，大きな動きで楽しく踊れていたよ。」等，結果だけほめられるとよい結果の時しかほめてもらえないと思うかもしれません。たまに言われる「うちの子にほめることなんて無いです。」そんなことは決してありません。よくよく見て聞いてください。必ず見つかりますから。

元気！笑顔！な子ども達のために

本校の児童のために地域の福原産業様から，テント2張りを寄贈していただき，9月13日に贈呈式を行いました。早速，運動会で活用させていただきます。また，丸津商店様からは，学校に必要な物をと自動裁断機を寄付していただきました。どちらも大切に使わせていただきます。本当にありがとうございました。



【切れ味抜群の裁断機です】

【テントの前で記念撮影】

夏休みの自由研究での学びを行動につなげ，みなさんにもぜひ協力していただきたいということで，ペットボトルのキャップの回収箱を置かせてほしいというお願いが，ある児童と保護者の方からありました。ペットボトルのキャップ2kg（約1000個分）は，子ども1人分のワクチン接種費用に充てられます。みなさんのご協力をよろしくお願いします。

≪お願い≫★ペットボトルのキャップは洗ってから持たせてください。

回収箱⇒

地域を学ぶ・地域で学ぶ No.2

学校で行う教育活動は全て文部科学大臣が示す学習指導要領に則っています。学習指導要領はおおよそ10年位で改定されますが、教科がなくなったり、新しい教科が導入されたりという大きな変化が起きた時がありました。1、2年生の理科と社会科が廃止され、「生活科」が新設された平成元年と3年生以上の学年で「総合的な学習の時間」が新設された平成10年です。新設当時の「生活科」と「総合的な学習の時間」の目標はそれぞれ「具体的な活動や体験を通して、よき生活者として必要な能力や態度を育てる」ことと「横断的・総合的な学習や創意工夫を生かした探求活動を通して、学び方を身に付けさせ、主体性を育て、自分の生き方を考えることができるようにする」ことでした。新設から長い年月が経っていますが、現在の学習指導要領でもその趣旨は変わっていません。

生活科は「具体的な活動」を通して、総合的な学習の時間は「探究的な活動」を通して人として必要な力を育んでいきます。それら活動の主なものは地域の多くの方々の力をお借りして行う「地域を学ぶ・地域で学ぶ」活動です。

これから本校で進めようとしている活動は、1、2年生の「さつま芋の収穫」と「昔遊び」、3年生の福祉体験学習、4年生の防災学習、5年生の門松づくり、6年生の地域の歴史学習です。多くの地域の皆様の力をお借りしながら、子どもたちの価値ある学びにつなげたいと、担任の先生方は計画立案中です。活動を進める際には皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

ところで、11月18日（土）には二ツ山フェスタが3年ぶりに開催されます。地域の皆様との交流を通して、子どもたちにはかけがえのない学びの場になりそうです。ありがたいことです。

コミュニティ・スクール推進員：宗近秀夫